

衛研第3-32号  
平成28年11月9日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。  
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
5. 全国及び関東情報
6. Saitama Infectious Agents Surveillance Report  
埼玉県病原微生物検出情報（月報）
7. Saitama Infectious Agents Surveillance Report  
Topics（非流行期におけるインフルエンザの検出状況）
8. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493-59-9325  
FAX 0493-59-9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

### 埼玉県内情報 平成28年第44週（平成28年10月31日～平成28年11月6日）

#### 今週の注目される疾患

図は <今週の注目される定点把握対象疾患の推移> を参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症2人の届出があった。四類感染症は、A型肝炎1人、レジオネラ症3人の届出があった。五類感染症は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症3人、梅毒2人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**感染性胃腸炎**(5.17 6.20：図1)の定点当たり報告数は、3週続けて増加し、今後の動向に注意が必要である。保健所別では、全保健所管内から報告があり、熊谷(8.11 14.33)、川口(7.63 11.81)保健所管内で大きく増加した。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(1.97 2.06：図2)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、全保健所管内から報告があり、春日部(1.00 4.33)保健所管内で大きく増加し、東松山(3.60)、川口(3.31)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、4歳から8歳で全体の59.3%を占めている。**流行性耳下腺炎**(1.02 0.96：図3)の定点当たり報告数は、前週と同水準であり、多い状況が続いている。保健所別では、秩父、本庄保健所を除く14保健所管内から報告があり、春日部(0.00 1.17)保健所管内で大きく増加し、朝霞(2.00)、狭山(1.82)保健所管内からの報告が多い。**インフルエンザ**(0.56 0.65)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加した。保健所別では、越谷市(0.62 2.08)保健所管内で大きく増加し、川口(1.24)、さいたま市(1.15)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎**20人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎**1人、**マイコプラズマ肺炎**18人、**クラミジア肺炎**1人の報告があった。

#### <全数把握対象疾患の患者情報>

<b>一類感染症</b>	報告なし	
<b>二類感染症</b>	報告なし（結核を除く）	
<b>三類感染症</b>	腸管出血性大腸菌感染症	2人（類型 患者1人、無症状病原体保有者1人、血清型 O157 1人、O15 1人）
<b>四類感染症</b>	A型肝炎	1人（推定感染地域 国内）
	レジオネラ症	3人（病型 肺炎型2人、無症状病原体保有者1人）
<b>五類感染症</b>	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3人（菌種 <i>Escherichia</i> .sp 1人、 <i>Klebsiella</i> .sp 2人）
	梅毒	2人（病型 晩期顕症1人、無症状病原体保有者1人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第44週)

(2016年11月8日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		10	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	160			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		14	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎	1	6	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱		1	レジオネラ症	3	79
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		10	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		44	侵襲性肺炎球菌感染症		80
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		7	水痘*		9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	45	先天性風しん症候群		
急性脳炎		34	梅毒	2	154
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		6
クロイツフェルト・ヤコブ病		5	破傷風		3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		37	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		7
ジアルジア症		1	風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		8	麻しん		7
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		6
<b>指定感染症</b>	該当疾患は無し				

水痘\*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	5	2		

累計は診断日で集計

\* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査 週情報										報告患者数										保健所別										平成28年10月31日～平成28年11月6日									
	インフルエンザ #1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 #3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(入院)	インフルエンザ																			
全	165	161	29	332	999	54	125	8	71	3	30	154	-	20	-	1	18	1	-	-																				
川	0.65	1.00	0.18	2.06	6.20	0.34	0.78	0.05	0.44	0.02	0.19	0.96	-	0.50	-	0.10	1.80	0.10	-	-																				
朝	1.24	1.75	0.31	3.31	11.81	0.25	0.69	-	0.25	-	-	0.88	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	12	19	8	40	80	3	9	2	6	-	6	28	-	4	-	-	-	-	-	-																				
朝	0.57	1.36	0.57	2.86	5.71	0.21	0.64	0.14	0.43	-	0.43	2.00	-	1.33	-	-	-	-	-	-																				
朝	7	10	-	23	90	-	8	-	5	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	0.37	0.83	-	1.92	7.50	-	0.67	-	0.42	0.08	-	0.58	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	8	-	-	18	14	5	2	1	5	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	1.00	-	-	3.60	2.80	1.00	0.40	0.20	1.00	-	-	0.60	-	-	-	-	2.00	1.00	-	-																				
朝	1	1	-	4	3	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	0.20	0.33	-	1.33	1.00	-	0.67	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	-	15	3	4	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	-	3.75	0.75	1.00	0.50	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	3	16	2	25	129	-	6	-	6	-	2	5	-	1	-	-	-	-	-	-																				
朝	0.23	1.78	0.22	2.78	14.33	-	0.67	-	0.67	-	0.22	0.56	-	0.50	-	-	-	-	-	-																				
朝	2	6	-	1	14	1	2	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	0.20	1.00	-	0.17	2.33	0.17	0.33	-	0.17	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	2	4	2	26	6	-	10	-	4	1	2	7	-	2	-	-	-	-	-	-																				
朝	0.20	0.67	0.33	4.33	1.00	-	1.67	-	0.67	0.17	0.33	1.17	-	2.00	-	-	-	-	-	-																				
朝	3	20	3	18	9	2	5	-	1	-	-	2	-	-	-	-	7	-	-	-																				
朝	0.21	2.22	0.33	2.00	1.00	0.22	0.56	-	0.11	-	-	0.22	-	-	-	-	7.00	-	-	-																				
朝	9	4	-	7	23	2	5	1	5	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	0.90	0.67	-	1.17	3.83	0.33	0.83	0.17	0.83	-	0.17	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	6	10	1	12	40	3	21	-	6	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	0.35	0.91	0.09	1.09	3.64	0.27	1.91	-	0.55	-	0.18	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	4	8	1	24	130	5	7	1	6	-	2	31	-	4	-	-	2	-	-	-																				
朝	0.15	0.47	0.06	1.41	7.65	0.29	0.41	0.06	0.35	-	0.12	1.82	-	0.80	-	-	2.00	-	-	-																				
朝	3	2	-	16	59	11	1	-	1	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	0.23	0.25	-	2.00	7.38	1.38	0.13	-	0.13	0.13	0.13	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-																				
朝	27	1	-	7	16	1	13	-	3	-	3	3	-	1	-	-	3	-	-	-																				
朝	2.08	0.13	-	0.88	2.00	0.13	1.63	-	0.38	-	0.38	0.38	-	0.50	-	-	3.00	-	-	-																				
朝	47	17	4	54	195	17	22	1	16	-	11	36	-	8	-	-	4	-	-	-																				
朝	1.15	0.63	0.15	2.00	7.22	0.63	0.81	0.04	0.59	-	0.41	1.33	-	1.00	-	-	4.00	-	-	-																				

( - : 0.00 ) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 11月 8日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第44週 平成28年10月31日～平成28年11月6日)

	合計																				
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
インフルエンザ #1	165	-	4	9	3	5	12	8	7	13	13	4	24	18	9	8	15	4	4	2	3
RSウイルス感染症	161	27	39	56	20	9	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	29	-	1	8	2	5	4	2	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	332	1	2	9	10	18	37	39	46	41	34	24	46	7	18	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	999	8	48	114	81	99	93	123	83	53	52	34	102	16	93	-	-	-	-	-	-
水痘	54	1	2	3	3	5	8	7	6	4	7	-	5	2	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	125	1	8	37	25	12	14	2	12	3	3	2	3	-	3	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	8	-	-	-	-	1	1	2	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	71	-	26	37	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	30	-	2	6	8	2	7	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	154	-	-	2	5	10	25	17	27	20	17	9	19	2	1	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳～	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	20	-	-	2	-	2	1	1	1	1	-	-	-	1	5	3	2	1	-	-	-
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
マイコプラズマ肺炎	18	-	3	8	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
クラミジア肺炎 #3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報 第 42週

( 10月17日～10月23日 )

平成28年11月9日

インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(10.03)、福井県(0.84)、山口県(0.68)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は56例と前週と比較して増加し、18都道府県から報告があった。

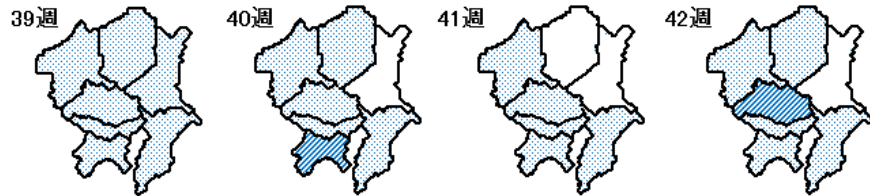
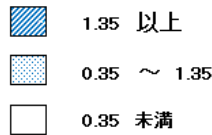
RSウイルス感染症の報告数は5,989例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は高知県(0.93)、佐賀県(0.61)、兵庫県(0.52)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(3.74)、山形県(3.73)、愛媛県(2.89)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県(11.13)、熊本県(9.06)、広島県(8.17)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は北海道(0.68)、香川県(0.54)、宮崎県(0.47)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.69)、愛媛県(3.16)、鹿児島県(2.56)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.22)、島根県(0.74)、三重県(0.53)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県(4.00)、新潟県(3.84)、熊本県(2.64)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岐阜県(6.60)、群馬県(3.75)、奈良県(3.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。6都道県から8例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(1例)、5～9歳(5例)、70歳以上(1例)であった。

## <関東情報>

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(1.40)からの報告が多い。

### 流行性耳下腺炎



		平成28年 42週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	1,843	517	45	35	43	52	106	117	119
	定点当たり	0.37	0.35	0.38	0.46	0.45	0.21	0.50	0.28	0.36
RSウイルス感染症	報告数	5,989	1,468	135	102	95	310	152	436	238
	定点当たり	1.90	1.55	1.80	2.13	1.64	1.95	1.13	1.67	1.13
咽頭結膜熱	報告数	694	138	3	3	3	27	11	62	29
	定点当たり	0.22	0.15	0.04	0.06	0.05	0.17	0.08	0.24	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,418	1,752	106	53	141	295	351	491	315
	定点当たり	1.72	1.85	1.41	1.10	2.43	1.86	2.62	1.88	1.50
感染性胃腸炎	報告数	13,742	4,099	258	168	183	639	442	1,338	1,071
	定点当たり	4.36	4.34	3.44	3.50	3.16	4.02	3.30	5.13	5.10
水痘	報告数	922	293	24	12	11	66	33	91	56
	定点当たり	0.29	0.31	0.32	0.25	0.19	0.42	0.25	0.35	0.27
手足口病	報告数	3,267	1,357	64	41	52	189	338	371	302
	定点当たり	1.04	1.44	0.85	0.85	0.90	1.19	2.52	1.42	1.44
伝染性紅斑	報告数	410	91	13	12	2	16	9	22	17
	定点当たり	0.13	0.10	0.17	0.25	0.03	0.10	0.07	0.08	0.08
突発性発しん	報告数	1,341	414	17	23	18	86	61	130	79
	定点当たり	0.43	0.44	0.23	0.48	0.31	0.54	0.46	0.50	0.38
百日咳	報告数	74	23	1	-	3	-	6	9	4
	定点当たり	0.02	0.02	0.01	-	0.05	-	0.04	0.03	0.02
ヘルパンギーナ	報告数	1,276	397	21	13	33	73	44	144	69
	定点当たり	0.40	0.42	0.28	0.27	0.57	0.46	0.33	0.55	0.33
流行性耳下腺炎	報告数	4,007	936	23	24	64	222	100	247	256
	定点当たり	1.27	0.99	0.31	0.50	1.10	1.40	0.75	0.95	1.22
急性出血性結膜炎	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	620	189	20	12	14	25	18	21	79
	定点当たり	0.89	0.91	1.18	1.00	1.00	0.61	0.53	0.54	1.58
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	37	4	-	-	-	-	-	2	2
	定点当たり	0.08	0.05	-	-	-	-	-	0.08	0.22
マイコプラズマ肺炎	報告数	758	163	24	10	30	28	16	41	14
	定点当たり	1.61	2.01	1.85	1.43	3.75	2.80	1.78	1.64	1.56
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	8	3	-	-	-	2	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.04	-	-	-	0.20	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

この情報は感染症法に基づく、感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所及び越谷市保健所の持つ病原体検査情報をまとめたものです。

## 今月のコメント

腸管出血性大腸菌は O157 が 11 件、O26 が 9 件検出され、依然多い状況が続いています。  
10 月に採取されたインフルエンザの検体は 14 検体で、A 香港型 (AH3) が 6 件、AH1pdm09 が 3 件検出されました。

## 細菌検出状況

平成28年10月31日現在

病原体名	分離月	8月	9月	10月	備考 (10月分)
三類	赤痢菌		1	2	<i>S. sonnei</i> :2 (モロッコ:1, 国内:1)
	腸管出血性大腸菌 O157	24	17	11	H7 (VT1&2): 4, H - (VT2): 1, H検査中 (VT1&2): 4, H検査中 (VT2): 2
	腸管出血性大腸菌 O26	18	12	9	H11 (VT1): 3, H検査中 (VT1): 6
四類	レジオネラ菌	3	3	4	<i>L. pneumophila</i> SG1 : 2, <i>L. pneumophila</i> SG2 : 1, <i>L. pneumophila</i> SG9 : 1
五類	バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)			2	<i>Enterococcus faecalis vanB</i> : 2
	溶血性レンサ球菌	1			
	その他	8	8	2	CRE :2 ( <i>Klebsiella pneumoniae</i> :1, <i>Klebsiella oxytoca</i> :1)

## ウイルス検出状況

### 全数把握対象疾患

四類感染症

平成28年10月31日現在 (累計:1月~)

五類感染症

平成28年10月31日現在 (累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数			
		8月	9月	10月	累計
E型肝炎	検体数	2	2		9
	E型肝炎	1	1		6
	検査中				
A型肝炎	検体数	1			4
	A型肝炎				3
	検査中				
重症熱性血小板減少症候群	検体数	10			10
	SFTS				
	検査中				
ジカウイルス感染症	検体数	3	2		9
	ジカ				
	検査中				
チクングニア熱	検体数		2		2
	チクングニア		2		2
	検査中				
デング熱	検体数	2	6		13
	デング	2	4		10
	検査中				

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数			
		8月	9月	10月	累計
急性脳炎 (四類以外)	検体数	7		4	52
	ヒトヘルペス 6				2
	ヒトヘルペス 7	2			2
	アデノ 2				1
	アデノ nt	1			1
	インフルエンザ B				2
	インフルエンザ AH1pdm09				2
	コクサッキー A4	2			4
	コクサッキー B4				1
	サイトメガロ				1
	水痘帯状疱疹				1
	EB	3			3
	検査中			4	4
風しん	検体数	1		12	16
	風しん				
	検査中			10	10*
麻しん	検体数	9	59	12	99
	麻しん	3	3		6
	風しん				2
	ヒトパルボ B19		4		5
	ヒトヘルペス 6				1
	ヒトヘルペス 7		3		3
	インフルエンザ B				1
	エンテロ 68		1		1
	ライノ		1		2
	検査中	1	12		13*

\* : 麻しんウイルス及び風しんウイルスは陽性でした。その他のウイルスについては検査中です。  
nt : not typed



## 定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ

平成28年10月31日現在(累計:1月~)

臨床診断名	検出月	検出月												累計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
検体数		83	76	33	81	14	2	4	4	6	14			317
インフルエンザ AH3		6	2	1	3	1		4		6	6			29
インフルエンザ B		24	23	19	58	11								135
インフルエンザ AH1pdm09		50	46	13	16	1			1		3			130
インフルエンザ A			1						1					2
アデノ 2			1	1										2
アデノ 3		1												1
アデノ 4					1									1
ライノ			1	1		1								3
ヒトヘルペス 7		1												1
EB			1											1
パラインフルエンザ 1							1							1
検査中											5			5

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

平成28年10月31日現在(累計:1月~)

臨床診断名	検出月 検体合計数	検出月												累計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
ウイルス		26	5	8	56	53	84	74	59	78	51			494
検体数		1		1	9	2	4	9	13	17	16			72
RS		1		1	4		3	8	12	16	10			55
ライノ				1	5	2								8
ヒトメタニューモ					1		1							2
コロナ					1									1
アデノ 2							1							1
アデノ nt					1									1
コクサッキー B5									1					1
エコー 6									1					1
パラインフルエンザ 3							1	1						2
ボカ					2	2	1							5
検査中											6			6
検体数		3	1		12	15	17	8	8	11	1			76
アデノ 1							4	1						5
アデノ 2					1	6	6							13
アデノ 3		1				2	2	2		2				9
アデノ 4							1	1	3	2				7
アデノ 5					2	1		1						4
アデノ 54										1				1
コクサッキー B1							1							1
コクサッキー B3										1				1
コクサッキー B5										1				1
エンテロ nt								1						1
インフルエンザ C					1									1
コロナ					1									1
検査中										1	1			2
検体数		8	4	5	20	22	12	15	4	12	3			105
ノロ		4	1		1	5				5				16
サボ				1	1	4		1						7
アストロ			1		1		2							4
ロタ (A)		1	1		9	1				2				14
アデノ 2					1	1	1	1	1					5
アデノ 3					1									1
アデノ 40/41		1				2			1					4
コクサッキー B1								1						1
パレコ							1	2		1				4
ライノ		1								1				2
インフルエンザ AH1pdm09					1									1
検査中											3			3
検体数					1									1
水痘					1									1
水痘帯状疱疹					1									1
検査中														

nt : not typed

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

平成28年10月31日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス 検出月 検体合計数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
		26	5	8	56	53	84	74	59	78	51			
手足口病	検体数	1			1	3	6	12	6	15	12			56
	コクサッキー A4						1	1	1					3
	コクサッキー A6	1						3	2	5				11
	コクサッキー A10								1	1				2
	コクサッキー A16							2						2
	エンテロ nt							1						1
	パレコ							1						1
	アデノ 5							1						1
	アデノ nt							1						1
	ヒトヘルペス7							1						1
	ライノ							3		1				4
	風しん**						1							1
	検査中									8	12			20
伝染性紅斑	検体数								1					1
	ヒトバルボ B19 検査中													
突発性発しん	検体数				1		2		5					8
	ヒトヘルペス 6 検査中				1				1					2
ヘルパンギーナ	検体数			1	2	3	17	19	9	6	8			65
	コクサッキー A2									1				1
	コクサッキー A4						5	9	3					17
	コクサッキー A5						2	5		3				10
	コクサッキー A6			1				1	1					3
	コクサッキー A10						1	1	2					4
	コクサッキー B3						1							1
	コクサッキー B5							1						1
	エンテロ nt							2						2
	パレコ					1								1
	ヒトバルボ B19					1								1
	ライノ					1		1						2
	アデノ 2						3							3
	アデノ nt								1					1
	サイトメガロ								1					1
	ヒトヘルペス 6								1					1
	ヒトヘルペス 7								1					1
ヒトメタニューモ				1									1	
麻しん**							1						1	
風しん**							1						1	
検査中									1	8			9	
流行性耳下腺炎	検体数	1				1	4	3						9
	ムンプス 検査中						2	2						4
無菌性髄膜炎	検体数	12		1	10	7	22	8	14	16	11			101
	単純ヘルペス 1						1							1
	ヒトヘルペス 7								1	2				3
	ムンプス				3			1						4
	水痘帯状疱疹						2							2
	サイトメガロ								1					1
	EB								1					1
	コクサッキー B2	2												2
	コクサッキー B3						2							2
	コクサッキー B5						8	3		2	1			14
	エコー 3									1				1
	エコー 6					1			3	5				9
	エコー 30									2				2
	エンテロ nt	1												1
	ライノ								3					3
検査中									3	10			13	

\*\* : 手足口病及びヘルパンギーナから検出された麻しんウイルス1件及び風しんウイルス2件はワクチン株でした。

nt : not typed

## 非流行期におけるインフルエンザの検出状況

2015年 - 2016年のインフルエンザの報告患者数は、2016年の年明けから増加し、第6週(2月8日～14日：定点当たり49.13)をピークに減少に転じました。以後、第18週(5月2日～8日：0.43)に定点当たり報告数が1.00を下回り、流行を終えました。

4月から新たに始まった病原体サーベイランス<sup>1)</sup>では、流行期の中に84検体が採取され、79検体からAH1pdm09が15件、A香港型(AH3)が4件、B型が60件検出されました<sup>2)</sup>。今回は、非流行期(2016年5月～10月)におけるインフルエンザウイルスの検出状況について報告します。

5月～10月にインフルエンザ指定提出機関で採取された検体は、39件で、36件からインフルエンザウイルスが検出されました。型別では、A香港型(AH3)が19件、B型が11件(ビクトリア系統3件、山形系統8件)、AH1pdm09が6件で、検出数が最も多かったA香港型(AH3)は、20歳未満11人、20歳以上8人から検出されました(下表)。また、B型は全て5月に採取された検体、A香港型(AH3)は5月の1件を除き18件は7月以降の検体、AH1pdm09は5月、8月及び10月に採取された検体からの検出でした。

表 年齢型別インフルエンザウイルスの検出数(衛生研究所検査分)

採取月	ウイルス型	年齢階級								計
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
5月～10月	AH1pdm09	1	1	1	1	1	1			6
	A香港型(AH3)	6	5	1	2	3	2			19
	B型ビクトリア系統	1		2						3
	B型山形系統	3	2	1	1			1		8

今週第44週(10月31日～11月6日)には定点当たり0.65となり、例年より早く流行期に入ることが予想されます。報告患者数が定点当たり1.00を超えた時点で、インフルエンザ指定提出機関の先生方におかれましては、各週1検体の採取をお願いします。

1) SIASR 病原体サーベイランスについて H28.5.11

<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/documents/siasr-topix-201604.pdf>

2) SIASR Topics Vol.01 インフルエンザウイルスの検出状況について H28.5.25

<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/documents/siasr-topix-201605.pdf>

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第44週

感染症発生動向調査 2016年

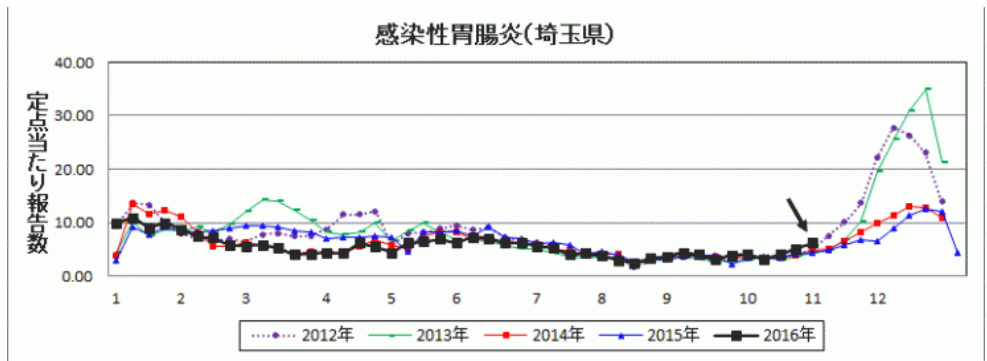
- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第28週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第29週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第30週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第31週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第32週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第33週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第34週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第35週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第36週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第37週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第38週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第39週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第40週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第41週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第42週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第43週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第44週](#)

感染症の流行状況 2016年 第44週

2016年第44週（平成28年10月31日～11月6日）の要点 平成28年11月9日

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、前週より増加し、今後の動向には注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↓	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">百日咳</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	↓	★★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン